

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国際農業研究協議グループ／アフリカ稲センター拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 国際農業研究協議グループ(CGIAR)／アフリカ稲センター(Africa Rice)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省 大臣官房 国際部 海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 アフリカにおける米の生産性向上に貢献するため、西アフリカの内陸低湿地を対象とし、農民参加型の持続可能な稲作生産体系技術を実証・普及する事業を実施。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成27年度	47,089	428		1米ドル = 110円	100
平成26年度	68,232	703		1米ドル = 97円	100
平成25年度	66,180	807		1米ドル = 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 アフリカ稲センターはCGIARに属する研究機関であり、アフリカの貧困削減と食料安全保障に貢献するため、持続可能な形で米の生産性と収益性を増大するための研究、開発、普及を行う国際機関。 当該任意拠出金は西アフリカの内陸低湿地を対象として、農民参加型の持続的稲作技術の実証・普及を通じて、中長期的な生産性の向上を支援するもので、これまでの事業の成果として安定した収量の増加や技術の普及が見られており、米の生産性向上に寄与する技術の普及及び人材の育成に貢献していると評価できる。					